

紀伊山地砂防管内視察(大規模災害対応スキルアップ)



事務所職員の大規模土砂災害発生時における対応スキルアップとして、平成23年台風12号で大規模な土砂災害が発生した、紀伊山地砂防事務所管内(赤谷地区、長殿地区、清水(宇井)地区)における対策状況及び山腹工の原点である琵琶湖河川事務所管内(田上山の山腹)を視察しました。紀伊山地現地視察前には概要説明を受け、職員との意見交換を行いました。

日時: 平成25年12月16日(月)~17日(火)

場所: 滋賀県大津市(田上山)

奈良県五條市(赤谷、清水[宇井])、十津川村(長殿地区)



【参加者所感】

○H23被災時にTEC-FORCEとして現地へ出向き、生々しい光景を見ていた為、今回の視察は非常に感慨深いものでした。見違えた現場風景に紀伊山地砂防の皆様、施工業者のご苦勞がうかがえました。
○現場ではまだ生々しい箇所も残っており、応急復旧工事を行っても、1回の出水で埋まってしまうなど、現場状況の厳しさを体感することができました。このような状況下では次の出水までにどこまで対策を行えるか等、スピードが大切だと学ぶことができました。また、様々な制約がある中で、試行錯誤しながら大変ご苦勞されている話を直に聞くことができ、とても勉強になりました。
○常願寺川「鳶崩れ」の抑えとして、白岩砂防堰堤建設時の先人の苦勞が偲ばれた(容易に崩れる崩積土と闘いながら止めの施設をつくる困難さが実感できた)